

「思いやりのある子どもたちに」

8

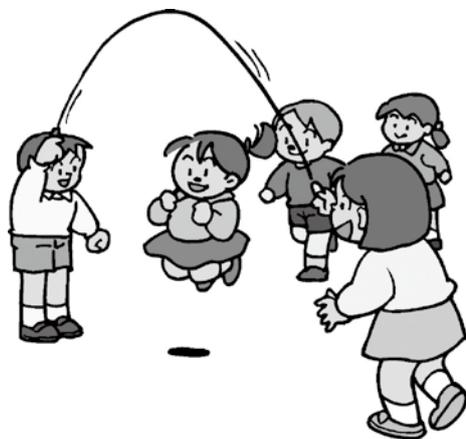
時15分、朝の運動場。

「用意、ピー」校内放送の合図で5分間の朝マラソン、子どもたちの学校生活の始まりです。それぞれ目標を決め、自分のペースで最後まで走りきります。

マラソンが終わって教室に向かう途中で、「先生、今日は5周走れたよ」「ぼくは6周走った」と、自分の頑張りに満足しているように、にこにこしながら誇らしげに話しかけてくる子どもたちによく出会います。きつと、頑張っている自分が好きなんだなと思えました。

胡 麻郷小の人権旬間は年2回。1回目は学校生活に慣れてきた6月中旬に実施しています。テーマを「自分の言葉と行動に責任をもとう」と設定し、「言葉と行動」について考えました。友だちに対して、「思いやりのある言葉づかい」や「思いやりのある行動」をすることにより、安心して楽しい学校生活を送ろうとする態度を養う取り組みをしました。

4年生では、「思いやり」とはどういうことか考え、目標について話し合いをしたとき、「仲間



はずれをつくらない」「けんかをしない」「あだ名を言わない」「いやがることを言ったりしたりしない」などが出てきました。子どもたちの心の中には「仲良く遊びたい」「名前と呼ばれたい」「楽しく過ごしたい」という強い願いがあることをクラスみんな確認し、目標を作りました。

毎 日の生活の中で、一人一人が人を思いやり、だれもが楽しい学校生活が送れるように、学校のいろいろな場面で、「自分のことが好き」という子どもを育てる取り組みを大切にしていきたいと考えています。

(胡麻郷小学校 人権教育主任

石橋 勝)

環・境・市・民



市内で発見した感激のエコ活動を紹介します。

家庭の生ゴミを堆肥にして再利用! ゴミの量は激減、できた堆肥で家庭菜園やガーデンングが楽しめる、簡単「ダンボールコンポスト」を紹介します。作り方はとてもお手軽で、キッチンなど部屋の中でも可能です。

みかん箱などの段ボール箱に「ピートモス(有機質土壌改良剤)」「3」に対して「もみ殻くん炭」2を入れます。(基材はホームセンターや園芸店で購入できます) 箱の半分くらいの高さが目安。生ゴミは水を切らずにそのまま入れ、毎日よくかき混ぜます。

しっかりとふたをし、底を上げるなど通気性をよくしておきます。3カ月ぐらい続け

た後、生ゴミの投入をやめ、土に混ぜて1〜2カ月置いて完成! ぜひ挑戦してください。

今回のエコポイント

中島笑子さん

(日吉町四ツ谷)



昨年の園部公民館講座の環境教室に参加したのがきっかけで、ダンボールで生ゴミ堆肥作りを始めました。昨年は混ぜ方が足りなかったよううまくできませんでした。今年7月にもう一度講座を受講して再挑戦。ほとんど匂いもなく今回は順調にできています。魚の頭や野菜くず、家が出る生ゴミは何でも入れて、そしてひたすら混ぜる。生ゴミが毎日形を変えていくのが楽しみです。最後にはなくなってしまうことに感動しています。12月には堆肥が完成するので家庭菜園や花壇に使いたいと心待ちにしています。

(環境課)